

# 鬼平犯科帳

を

## 西尾忠久

### 助本番

### たすけ

- 1○啞の十歳〇本所・桜屋敷〇血頭の丹兵  
厩河岸〇老盗の夢〇暗剣白梅香〇座頭と猿  
2○蛇の眼〇谷中・いろは茶屋〇女掏摸お富〇妖次菴小僧  
〇密偵〇お雪の乳房〇埋蔵金千両 3〇麻布ねずみ坂〇姿  
法秘伝〇艶婦の毒〇兎剣〇駿馬・宇津井轟〇弓の方  
4〇霧の七郎〇五年目の客〇密通〇血闘〇あばたの助〇  
おみね徳次郎〇敵〇夜鷹殺し 5〇深川・鳥越の公食坊  
主〇女賊〇おしゃべり源八〇兎賊〇山吹屋お月〇妙牛  
〇礼金二百両〇猫じゃらしの女〇対客〇狐次〇大山の隠居  
〇盗賊人相書〇のそり医者 6〇い庄右衛門〇隠居  
金七百両〇はさみ撃ち〇搔掘のおかい〇元祖の和物始末〇  
寒月六間堀〇盗賊婚礼 8〇用意棒〇あきれたがれ〇明神の  
次郎吉〇流星〇白と黒〇あきらめきれ 9〇引の力五  
郎〇鯉肝のお里〇泥龜〇本門寺暮雪 10〇浅草・鳥越橋〇白  
い粉〇狐雨 10犬神の権三〇蛙の足〇足跡〇五月雨坊  
主〇むかしなじみ〇消えた男〇お熊と 11〇男色一本  
餽飪〇土蜘蛛の金五郎〇穴〇泣き味〇屋〇密告〇毒〇雨  
隠れの鶴吉 12〇いろおとこ〇高杉・湯・三羽鳥〇見張り  
の見張り〇密偵たちの宴〇二つの口〇白蝮〇二人女房  
13〇熱海みやげの宝物〇殺しの波紋〇夜針の音松〇墨つ  
ぼの孫八〇春雪〇一本眉 14〇あごひげ三十両〇尻毛の  
長右衛門〇殿さま栄五郎〇浮世の顔〇五月闇〇さむらい松  
五郎 15〇赤い空〇剣客医者〇闇〇流れ星〇急変の日〇  
落ち鱸〇秋天清々 16〇影法師〇網虫のお吉〇白根の万  
左衛門〇火つけ船頭〇見張りの糸〇霜夜 17〇権兵衛酒  
屋〇危急の夜〇旧友〇闇討ち〇丹波守下屋敷〇見張りの  
日々〇汚れ道 18〇俄か雨〇馴馬の三藏〇蛇苺〇一寸の  
虫〇おれの弟〇草雲雀 19〇霧の朝〇妙義の團右衛門〇  
おかね新五郎〇逃げた妻〇雪の果て〇引き込み女 20〇  
おしま金三郎〇二度ある事は〇顔〇怨恨〇高萩の捨五郎〇  
助太刀〇寺尾の治兵衛 21〇泣き男〇瓶割り小僧〇麻布  
一本松〇討ち入り市兵衛〇春の淡雪〇男の隠れ家 22〇  
豆甚にいた女〇夜鴉〇逢魔が時〇人相書二枚〇法妙寺の  
九十郎〇梅雨の毒〇座頭・徳の市〇托鉢坊主〇麻布・暗  
闇坂〇高潮〇引鶴 23〇隠し子〇夜鴉の声〇囮〇荒神の  
お夏〇おまさとお園〇盗みの季節〇押し込みの夜 24〇女  
密偵女賊〇ふたり五郎蔵〇相川の虎次郎〇お熊の茶店〇浪  
人・神谷勝平



データで愉しむ全十四巻・全六四話

# 鬼平犯科帳

を

# いたす太刀助

## 西尾忠久

- 1.嶮の下蔵の本所・桜屋敷の血頭の丹兵衛の浅草・御  
厩河岸の老盗の夢・暗剣白梅香の座頭と猿・むかしの女  
2.蛇の眼・谷中・いろは茶屋の女掏摸お富・妖盗葵小僧  
の密偵・お雪の乳房の埋蔵金千両 3.麻布ねずみ坂の盜  
法秘伝・艶婦の毒・兎剣・駿州・宇津谷峠・むかしの男  
4.霧の七郎・五年目の客の密通の血闘・あはたの新助の  
おみね徳次郎・敵・夜鷹殺し 5.深川・千鳥橋・乞食坊  
主の女賊・おしゃべり源八・兎賊・山吹屋お勝の鈍牛 6.  
礼金二百両の猫じゃらしの女・刺客の狐火・大川の隠居  
の盗賊人相書のいろは茶屋の女掏摸お富・妖盗葵小僧  
金七百両(はさみ幣)の埋蔵金千両 3.麻布ねずみ坂の盜  
寒月六間堀の盗賊・兎剣・駿州・宇津谷峠・むかしの男  
次郎吉の流星の白き日の客の密通の血闘・あはたの新助の  
郎・鯉肝のお里の夜鷹殺し 5.深川・千鳥橋・乞食坊  
い粉の狐火 10.太り源八・兎賊・山吹屋お勝の鈍牛 6  
主のむかしなじみの猫じゃらしの女・刺客の狐火・大川の隠居  
艦鰐の土蜘蛛の金・いろは茶屋の女掏摸お富・妖盗葵小僧  
隠れの鶴吉 12.弓の埋蔵金千両 3.麻布ねずみ坂の盜  
の見張りの密偵たる・兎剣・駿州・宇津谷峠・むかしの男  
13.熱海みやげの日の客の密通の血闘・あはたの新助の  
ほの孫八・春雪の夜鷹殺し 5.深川・千鳥橋・乞食坊  
長右衛門の殿さま取り源八・兎賊・山吹屋お勝の鈍牛 6  
五郎 15.赤い空の猫じゃらしの女・刺客の狐火・大川の隠居  
落ち廻の秋天清々 16.弓の埋蔵金のねじのねじのねじのねじ  
左衛門の火つけ船頭の見張りの糸の霜夜 17.権兵衛酒  
屋の危急の夜の旧友の間討ち・丹波守下屋敷の見張りの  
日々の汚れ道 18.俄か雨の駒馬の三歳の蛇苺の一寸の  
虫・おれの弟・草雲雀 19.霧の朝の妙義の團右衛門の  
おかげ新五郎・逃げた妻・雪の果ての引き込み女 20.おしま  
金三郎の二度ある事はの顔の怨恨・高萩の捨五郎の  
助太刀の寺尾の治兵衛 21.泣き男の瓶割り小僧の麻布  
一本松の討ち入り市兵衛の春の淡雪の男の隠れ家 22.  
豆甚にいた女の夜鷹・逢魔が時の人相書二枚の法妙寺の  
九十郎の梅雨の毒・座頭・徳の市・托鉢坊主の麻布・暗  
闇坂の高潮の引鶴 23.隠し子の夜鷹の声の圓の荒神の  
お夏のまさとお園の盜みの季節の押し込みの夜 24.女  
密偵女賊のふたり五郎藏の相川の虎次郎のお熊の茶店の浪  
人・神谷勝平



# 「鬼平犯科帳」を助太刀いたす

一九九六年十月五日 初版第一刷発行

著者……西尾忠久

© Tadahisa Nishio, Printed in Japan, 1996



発行者……栗原幹夫  
発行所……KKベストセラーズ

電話〇三二三三六四一九二二一 振替〇〇一八〇一六一〇七〇八三

印刷所……錦明印刷 製本所……積信堂 電植製版……二協美術  
ISBN4-584-19131-X

定価はカバーに表示しています。乱丁・落丁一本がございましたらお取り替えいたします。本書の内容の一部あるいは全部を無断で複製複写（コピー）することは、法律で認められた場合を除き、著作権者および出版者の権利に反する違法になりますので、その場合はあらかじめ小社まで許諾を求めて下さい。

西尾忠久（にしお ただひさ）  
関西大学経済学部卒。三洋電気、アド・エンジニアーズなどでコピーライター。多摩美術大学講師。NHK文化センター（東京・青山）の「鬼平犯科帳」講座講師。英国王室御用達から森羅万象を抽出したデータベース制作にも熱中。著書に『フォルクスワーゲンの広告』『キャンペーン』『江戸老舗さんば』『世界名店さんば』『ワープロ書斎術』『ミステリーカフェ』『ロンドン案内1・2』『ベルギー風メグレ警視の料理』など多数。本書関連では、『鬼平犯科帳の世界』（文春文庫）に『江戸買物案内』、『鬼平犯科帳』（お愉しみ読本）（同）に『鬼平流ダンディズム・名場面』を執筆。

## はじめに、謎がありました●まえがき

NHK文化センター（東京・青山）で「池波正太郎と『鬼平犯科帳』の世界」のクラスをもつことになつたとき、参加してくる人たちには、ぼく以上の『鬼平犯科帳』愛読者、ぼくよりも古くから鬼平ファンになつてゐる人もいるにきまっていますからね、講ずるとしたら、その人たちが目にしたこともないデータを提供しなければならないな、とびくびくものでした。

いっぽう、ぼくはぼくで、『鬼平犯科帳』について、いくつもの疑問をかかえていました。長谷川平蔵宣以の火盜改メとしての任期のこと、その助役中のこと、宣雄のこと、おまさのこと、佐嶋忠介与力のこと……。

で、まず、火盜改メに任命された延べ二百人近い旗本のリストをつくり、その人たちの家譜を『寛政重修諸家譜』からコピーしてみるとからはじめました。家譜を子細に読むことで、どういう家柄の武士が選ばれるのか、平蔵宣以はそのなかではどんな位置づけ

になるのか、などが考察できる、とおもつたのです。

クラスの男性たちに一巻ずつ割りあて、公共図書館で『諸家譜』から火盗改メを拝命した人の記録を探しだしてきてほしい、とたのみました。しんどい宿題だつたらうとおもいますが、みんな、よくやつてくれました。

ぼくは『徳川実紀』をあたつてその裏をとりました。両者のコピー量は厚さにして十セントチを越えるほどにもなりました。

平蔵宣以の火盗改メ長官としての任期の七年はきわめて異例の長期だつたこともそれでわかりました。なぜそうなつたのか。

池波正太郎さんは、妻女・久栄への愚痴のかたちで、

「他のだれがやつても、自慢ではないがおれほどにできまい。なればこそやめられぬ。これはな、久栄。なにも悪党どもを征伐して諸人の難儀をふせぐ、などという偉そうな気持からではないのだ。つまりは、その……」

「この御役目がお好きなので……」

「いや、そうではない。好きではないが、やめられぬという……理屈ではわからぬことだ。つまりはその、盗賊相手にはたらく御役目へ、おれはどうぶ足をとられてしま

つて いる。いまのおれとくらべて見て、以前に、いろいろとつとめた他の御役目なぞの味気なさをおもい出すと、ぞつとしてしまうのだ」

〔(6)――1 礼金二百両〕 P.9)

鬼平の生き甲斐となっていたため、と解釈しています。それも一面の真実だつたでしょう。小説としてはそれでいいわけです。

しかし、先手組頭の一、二年の加役、つまりは義理職なみのあつかいをされてきていたのを、平蔵宣以(のぶなめ)が幕府の定役のようにしてしまうことへの反論はなかつたのか、世情が平蔵宣以(のぶなめ)を必要としていたのか、幕府の上層部のかんがえは、といった面からも光をあてなければいけないとおもいました。

パソコンをつかつたデータ処理もしましたが、成人教室なので、硬いいっぽうの話ではどうしようもありません。前半は興味優先、後半はちよつびり硬めにしました。さいわいにも、クラスの熱気は上々、月二回の集まりにみんなのしそうに顔を見せました。泥棒ごっこもやりました。が、クラスは、ぼくの要領の悪さもあつて当初予定の半年では終らず、一年間つづくことになつてしましました。

この本でもおなじようなことがおきました。あんなに魅力的な与力・同心たち、献身的な密偵団、したたかな盗人群、料理、襲われる商店側、町のたたずまい、「江戸買物独案

内』『切絵図』に集約した事柄スポット、みんな積みのこしました。つぎの本へ申しあげる  
しかありません。

あなたも、クラスの人たちにまけずおとらずの鬼平熱愛者<sup>フイル</sup>のはず。この本が提供するデータをクラスの人たちがおもしろがつた以上に、おもしろがり、さらには『鬼平犯科帳』一六四話をくり返して一生たのしむよすがとなさることをねがつています。

そして、巻末の盗人の「呼び名」さがしにも手を貸してください。

なお、引用の各話の上部の○内の番号は文庫本の巻数、下の数字は順番を表します。

一九九六年九月

西尾忠久  
にしお ただひさ

「鬼平犯科帳」を助太刀いたす●目次

はじめに、謎がありました●まえがき……………1

『鬼平犯科帳』全作品リスト……………12

# I 章 誠意の女密偵・おまわ

おまわの登場率は、七割七厘?……………16

おまわの登場は、テレビ化がきっかけ……………19

おまわの「おわ」は、どんな漢字?……………22

おまわは、今日でいえば専門職女性……………25

母親としてのおまわし、おまわの母親……………30

おまわは、意気地のなかつた、」と後悔してゐる……………35

「おまわ以前」には、「美人」がいた……………39

「美人」という表現が、「おまわ以後」には消えた……………43

おまわに対する、妻女・久栄の思惑……………50

●おまわに関するデータ……………55

おまわがその下ではたひつたいんのあら盗賊の首領たち

おまわの住まいの変遷

おまわの誠意を堪能する編

多彩で魅力的な女賊たち編

## II 章 長官夫人・久栄の余裕<sup>おかしら ゆとり</sup>の氣ばたらき

二男三女を産み、育てた久栄の年齢	60
妻女一人を守るのは、メグレ警視風	80
「久栄。お前はいい女だ」	85
久栄の実家、大橋家の実情	89
一人で何役もこなしきれる、久栄の余裕	96
夫・鬼平のいなし方、長男・辰蔵の叱りよう	101
夫の愚痴は聞くほど、親身になれる	115
久栄が耳にした与力・同心たちの人物評	124

●久栄と鬼平に関するデータ……………135

鬼平の役宅を彩る花木

久栄の好物

### III 章 長谷川平蔵に学ぶ人間味の深め方

池波さんは長谷川平蔵をどこで見つけたか……………142

町奉行になりそこねた平蔵宣以……………147

昼夜巡回は火盗改メの定められた仕事……………152

平蔵宣以の鋭い勘ばたらきと果断な決定……………155

二十三歳の平蔵宣以のお目見得は遅すぎ……………159

本所・三ツ目通りへの移転の裏を読む……………163

長谷川一門の当主の三割二分三厘が「某女」生れ……………168

宣義は、なぜ祖父・宣雄の火盜改メの記録を消したのか……………174

名工・兵左衛門作の銀煙管は、ほんとうに亡父の遺品か?……………179

鬼平の慈悲心の根底には、神仏への信仰心がある……………182

亡父の縁を大切にする鬼平の人情……………189

泪は理屈を超えるもの……………194

殿中秘薬・瓊玉膏の下賜も手遅れ……………201

天明飢饉の暴動鎮圧部隊に任命された……………209

剣の小野次郎右衛門忠喜と不運の安藤又兵衛正長……………215

同時期、堀帶刀秀隆は本役、平蔵宣以は助役だった……………218

前任者・堀帶刀秀隆はたいへんな時代をつとめた……………223

白浪ものじやなく、人間劇にひたつているんだ……………226

七年のあいだに助役についたのは四人……………231

平蔵宣以の七年留任の理由は、けつぎよくわからなひ……………239

●鬼平に関するデータ……………245

鬼平の寺社参拝リスト

鬼平の刀剣・武器

●卷末データI「盗人用語」……………258

●卷末データII「盗人の呼び名」……………275

装幀……………島田拓史

## ●『鬼平犯科帳』全作品リスト(二十四巻・文春文庫)

- ① 「啞の十蔵」「本所・桜屋敷」「血頭の丹兵衛」「浅草・御厩河岸」「老盜の夢」「暗剣白梅香」「座頭と猿」「むかしの女」
- ② 「蛇の眼」「谷中・いろは茶屋」「女掏摸お富」「妖盜葵小僧」「密偵」「お雪の乳房」「埋藏金千両」
- ③ 「麻布ねずみ坂」「盜法秘伝」「艶婦の毒」「兎劍」「駿州・宇津谷<sup>うつのや</sup>峰」「むかしの男」
- ④ 「霧の七郎」「五年目の客」「密通」「血闘」「あばたの新助」「おみね徳次郎」「敵」「夜鷹殺し」
- ⑤ 「深川・千鳥橋」「乞食坊主」「女賊」「おしゃべり源八」「兎賊」「山吹屋お勝」「鈍牛」
- ⑥ 「礼金二百両」「猫じやらしの女」「剣客」「狐火」「大川の隠居」「盜賊人相書」「のつそり医者」
- ⑦ 「雨乞い庄右衛門」「隠居金七百両」「はさみ撃ち」「搔掘のおけい」「泥鮨<sup>どじょ</sup>の和助始末」「寒月六間堀」「盜賊婚礼」

- ⑧ 「用心棒」「あきれた奴」「明神の次郎吉」「流星」「白と黒」「あきらめきれずに」
- ⑨ 「雨引の文五郎」「鯉肝のお里」「泥亀」「本門寺暮雪」「浅草・鳥越橋」「白い粉」「狐雨」
- ⑩ 「犬神の権三」「蛙の長助」「追跡」「五月雨坊主」「むかしなじみ」「消えた男」「お熊と茂平」
- ⑪ 「男色一本餽餗」「土蜘蛛の金五郎」「穴」「泣き味噌屋」「密告」「毒」「雨隠れの鶴吉」
- ⑫ 「いろおとこ」「高杉道場・三羽鳥」「見張りの見張り」「密偵たちの宴」「二つの顔」「白蝮」「二人女房」
- ⑬ 「熱海みやげの宝物」「殺しの波紋」「夜針の音松」「墨つぼの孫八」「春雪」「一本眉」
- ⑭ 「あごひげ三十両」「尻毛の長右衛門」「殿さま栄五郎」「浮世の顔」「五月闇」「さむらい松五郎」
- ⑮ 特別長編「雲竜剣」（赤い空 剣客医者 間 流れ星 急変の日 落ち鱸 秋天清々）
- ⑯ 「影法師」「網虫のお吉」「白根の万左衛門」「火つけ船頭」「見張りの糸」「霜夜」

(17) 特別長編 「鬼火」 ( 権兵衛酒屋 危急の夜 旧友 閻討ち 丹波守下屋敷 )  
見張りの日々 汚れ道

(18) 「俄か雨」「駢馬の三蔵」「蛇苺」「一寸の虫」「おれの弟」「草雲雀」  
(19) 「霧の朝」「妙義の團右衛門」「おかね新五郎」「逃げた妻」「雪の果て」

「引き込み女」

(20) 「おしま金三郎」「二度ある事は」「顔」「怨恨」「高秋の捨五郎」「助太刀」

「寺尾の治兵衛」

(21) 「泣き男」「瓶割り小僧」「麻布一本松」「討ち入り市兵衛」「春の淡雪」「男の隠れ家」

(豆甚にいた女 夜鴉 逢魔が時 人相書一枚 法妙寺の九十郎)  
(梅雨の毒 座頭・徳の市 托鉢坊主 麻布・暗闇坂 高潮 引鶴)

(22) 特別長編 「迷路」

(夜鴉の声 囂 荒神のお夏 おまさとお園)  
(盜みの季節 押し込みの夜)

(23) 「隠し子」 特別長編 「炎の色」

(24) 「女密偵女賊」「ふたり五郎蔵」 特別長編 「誘拐」 ( 相川の虎次郎 お熊の茶店 )  
(浪人・神谷勝平)